

harman / kardon  
by HARMAN

# AURA STUDIO 3

## 取扱説明書


### 安全上のご注意


- 使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。


**⚠ 警告** この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。


**⚠ 注意** この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。


- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止(してはいけないこと)を示す記号です。


 水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

 分解してはいけないことを示す記号です。

 指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。


 濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。


 電源アダプタをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

 触れてはいけないことを示す記号です。


 触れてはいけないことを示す記号です。


### ⚠ 警告


 付属品以外の電源コードは使用しない。火災の原因になることがあります。


 水道の蛇口付近や風呂場などの濡れている場所や水気の多い場所では使用しない。火災・感電の原因になります。


 船舶などの直流(DC)電源には接続しない。火災の原因になります。

 本機の内部に水などが入った場合は、ACアダプタをコンセントから抜いて販売店または弊社サービスセンターに点検を依頼する。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。


 電源コードを束ねた状態で本機を使用しない。火災・感電の原因になります。


 本機の内部に異物を入れない。万一、本機の内部に異物が入った場合は、ACアダプタをコンセントから抜いて販売店または弊社サービスセンターに点検をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。


 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。


 アルコール・シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しない。引火性溶剤が本機内部の電源部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。


 電源コードが破損して火災・感電の原因になります。

 直射日光が当たる場所や、温度が異常に高くなる場所(暖房機のそばなど)に設置しない。キャビネットや内部回路に悪影響が生じ、火災の原因になることがあります。

 電源コードが破損した場合(芯線の露出や断線など)には、販売店または弊社サービスセンターに交換(有償)を依頼する。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

 分解や改造をしない。感電の原因になります。


 タコ足配線しない。発熱により火災・感電の原因になります。


 調理台や加温器の近くなど油煙や湯気があたる場所に設置しない。火災・感電の原因になります。


 テーブルタップ(延長コード)を使用しない。発熱により火災・感電の原因になります。

 オーディオ機器を接続するときは、それぞれの機器の取扱説明書に従い、指定のケーブルを使用して接続する。指定以外のケーブルを使用すると発熱し、やけどの原因になることがあります。


 雷が鳴りはじめたら、電源アダプタには触れない。感電の原因になります。


 煙が出る場合、異常なおいや音がする場合は、すぐにACアダプタをコンセントから抜く。煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社サービスセンターに修理を依頼してください。


 電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードを本機の下敷きにしない。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

 薬物厳禁  
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また、接点復活剤を使用しない。外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。


### ⚠ 注意

 濡れた手でコンセントを抜き差ししない。感電の原因になります。


 ほこりや湿気の多い場所に設置しない。ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となります。

 長期間本機を使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜く。火災・感電の原因になります。

 不安定な場所や振動する場所に設置しない。本機が落下や転倒して、けがの原因となります。


 ACアダプタを抜くときは、電源コードを引っばらない。電源コードが破損して火災・感電の原因になることがあります。

 移動するときは電源スイッチを切り、すべての接続を外す。接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。


 ACアダプタは、コンセントの根元まで確実に差し込む。


 移動するときは電源スイッチを切り、すべての接続を外す。接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。


 ACアダプタは、コンセントの根元まで確実に差し込む。

 移動するときは電源スイッチを切り、すべての接続を外す。接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

 ACアダプタは、コンセントの根元まで確実に差し込む。

 移動するときは電源スイッチを切り、すべての接続を外す。接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

 ACアダプタは、コンセントの根元まで確実に差し込む。

 移動するときは電源スイッチを切り、すべての接続を外す。接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

### Bluetooth® に関するご注意

本機は、2.4GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、一般家庭でもいろいろな機器(電子レンジやコードレス電話など)で使用されています。

以下のような場所で本機を使用する場合、送信/受信ができなくなることがあります。

- 2.4GHzを利用する無線LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。(環境により電波が届かない場合があります。)
- ラジオから離してお使いください。(ノイズが出る場合があります。)
- テレビにノイズが出た場合、本機(および本機対応製品)がテレビ、ビデオ、BSチューナー、CSチューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。本機(および本機対応製品)をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

#### ⚠ 注意

- 本機の使用によって発生した損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機は、全てのBluetooth機器との接続動作を保証するものではありません。
- 弊社ではお客様の接続機器に関する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

#### 安全にお使いいただくために

- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- 航空機内や病院など、使用を制限された場所では電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。ご使用前に航空会社、医療機関にご確認ください。

#### ご注意ください電子機器の例

補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。

ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

#### 電波法に基づく認証について

本機は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機を分解/改造すること。
- 本機に掲示している証明表示を消したりはがすこと。

#### 周波数について

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFHSS(周波数拡散方式)を採用し、想定される与干渉距離は約10mです。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、弊社サービスセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サービスセンターへお問い合わせください。

### 付属品

お使いになる前に、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

- 電源ケーブル



- クイックスタートガイド(Quick Start Guide)

- 保証書(WARRANTY CARD)

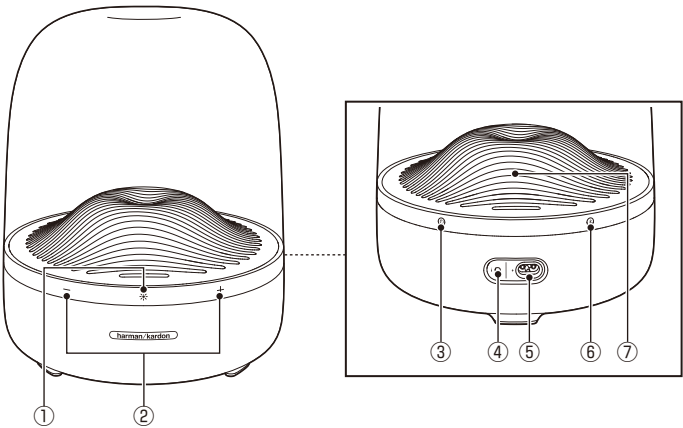
- 安全シート(安全に関する重要な指示)

### 各部の名称

#### 開梱時のご注意

本機は底面にウーファーを搭載しています。

お買い上げ時、本機は横向きで箱に収納されていますので、箱から取り出す際、ウーファーに手を触れないようご注意ください。



- ① イルミネーションボタン(☀)

- ② 音量ボタン(-/+)

- ③ 電源ボタン(⏻)

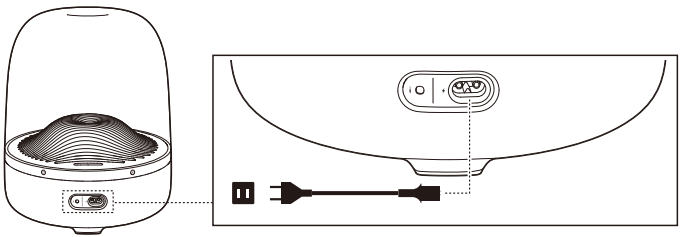
- ④ AUX IN(オーディオ入力)端子

- ⑤ POWER(電源)端子

- ⑥ Bluetoothボタン(📶)

- ⑦ イルミネーション部

### 電源を接続する



付属の電源ケーブルを、本機のPOWER端子に接続し、コンセントにつなげます。

本機は国内外の電圧に対応しています。海外でご使用の際は、お使いになる国のコンセントに合った変換プラグが必要になります。

### 基本操作

#### ▶ 電源を入れる

電源ボタン(⏻)を軽くタッチします。

電源がオンのときにタッチすると、電源がオフになります。



#### ▶ 音量を調節する

音量ボタン(+/-)を軽くタッチします。

Bluetooth接続中は、接続しているデバイスからも音量を調節することができます。



#### ▶ イルミネーションをオン/オフする

イルミネーションボタン(☀)を軽くタッチします。



タッチするごとにイルミネーション部のオンとオフが切り替わりります。

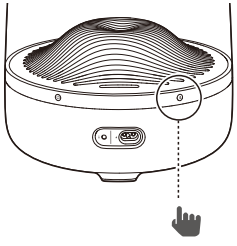
## Bluetooth 接続を行う

Bluetooth 機能を使ってワイヤレス再生を行うには、はじめに本機と Bluetooth 対応デバイスを認識させる「ペアリング」が必要となります。

### ▶ ペアリングを行う

以下の手順は一例です。詳細については、接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

- 電源ボタン (  ) を軽くタッチして、本機の電源を入れる。起動音となり、イルミネーション部全体が白く点灯します。
- Bluetooth ボタン (  ) を軽くタッチする。電子音が鳴り、イルミネーション部が青く点滅します。
- デバイス側でペアリング操作を行い、登録 / 接続する。ペアリングが完了すると電子音が鳴り、イルミネーション部の外側が青く点灯してから内側が白く点灯します。ペアリング完了と同時にデバイス側の音量が表示されますので、デバイス側の音量の確認を行ってから音楽を再生してください。



iPhone/iPod/iPad の場合：

- iPhone/iPod/iPad をペアリング設定状態にする。「設定」→「Bluetooth」の順にタップした後、「Bluetooth」を「オフ」から「オン」にします。Bluetooth に接続できるデバイスの一覧が表示されます。
- デバイスから「HK Aura Studio 3」を選択する。接続が完了すると、デバイス上で「接続済み」と表示されます。

その他のデバイス（携帯電話・スマートホンなど）の場合：

- ペアリング設定状態にする。接続するデバイス側で、本機を検出可能な状態にします。お使いのデバイスの取扱説明書も合わせてご覧ください。（パスキーが必要な場合は「0000」と入力します。）一部のデバイスでは、接続を確認するメッセージが表示されます。イルミネーション部が青く点灯して白く点灯すると、ペアリングは完了です。
  - 登録にはお使いの携帯電話・スマートホンの「端末暗証番号」が必要になる場合があります。
  - 機種によっては同時に接続できないものがあります。また、設定方法は機種により異なりますので、携帯電話・スマートホンの取扱説明書も合わせてご覧ください。

**ご注意**

- Bluetooth は約 10m までの距離で接続できますが、障害物(人体、金属、壁など)や電波状態によって接続有効範囲は変動します。
- 以下の場合、Bluetooth 接続に障害を起こす場合があります。このような場合、再生や通話が途切れることがあります。故障ではありません。使用環境を変えてご使用ください。
  - 多数の無線 LAN 機器があるところ、電子レンジ・携帯電話・通信機能のある携帯ゲーム機器などを使用中の周辺、またはその他電磁波が発生している場所など

本機は一度ペアリングを行ったデバイスの情報を記憶していますので、ペアリングを行ったあとは、本機の電源を入れ、接続したいデバイスの Bluetooth をオンにするだけで Bluetooth 接続することができます。

### ▶ Bluetooth 接続を解除する

**iPhone/iPod/iPad で解除する**

Bluetooth 対応デバイスの「このデバイスの登録を解除」を選択してください。

**その他のデバイスで解除する**

接続している機器を Bluetooth 設定状態にし、Bluetooth を「オフ」にします。

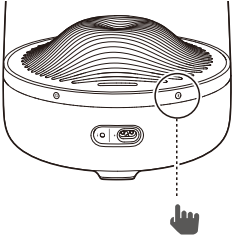
**オートパワーオフ機能について**

本機の電源がオンのとき、約 20 分間以上音声入力がなく、操作も行われない状態が続くと、自動的に電源がオフになります。

電源がオフになったときは、再度電源を入れ直すか、デバイス上で音楽の再生を始めると電源オンの状態に戻ります。なお、オートパワーオフ機能をオフにすることはできません。

## マルチポイント機能

本機は Bluetooth マルチポイント機能により、スマートホンやパソコンを 2 台同時に Bluetooth 接続し、待ち受け状態にしておくことができます。すでに 1 台目が Bluetooth 接続している状態で 2 台目をペアリングしたい場合は、Bluetooth ボタンを押してください。その後、接続したデバイスをペアリング設定状態にし、ペアリングを行ってください。



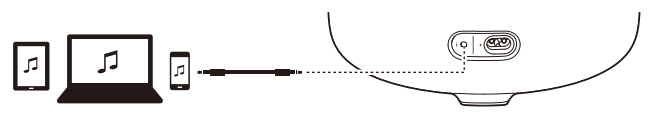
**ご注意**

- 音楽を切り替えるには、現在接続のデバイスで音楽を一時停止し、2 台目のデバイスで再生を選択します。
- 1 台目が Bluetooth の通信範囲外になったり電源が切れたりした場合は、2 台目を手動で再接続する必要があります。
- マルチポイント機能を切断するには、Bluetooth 対応デバイスの「このデバイスの登録を解除」を選択してください。

## その他の機器を接続する

### ▶ その他のオーディオ機器の音楽を聞く

3.5mm ステレオミニプラグ付きオーディオケーブル（別売）を使ってお手持ちのオーディオ機器・PC に接続し、音声を再生することができます。



- 3.5mm ステレオミニプラグ付きケーブル（別売）を使って、オーディオ機器・PC の音声出力端子と本機の AUX（オーディオ入力）端子に接続する。
- オーディオ機器または PC で音声を再生する。
  - 他の機器と Bluetooth 接続している場合、Bluetooth 接続が優先されます。オーディオケーブルを使って接続する場合、最初に Bluetooth 接続を解除してください。

## トラブルシューティング

原因	解決法
本機の電源ボタンを押しても電源が入らない。	本機が充電されているかご確認ください。
電源は入るが、音が出ない。	ペアリングされているかご確認ください。 再生デバイスの音量をご確認ください。  Bluetooth デバイスの再生が一時停止になっていないかご確認ください。
音が歪む。	音量が上がりがすぎている場合は音量を下げてください。
ペアリングできない。	別の機器と接続していないかどうかご確認ください。本機は一度ペアリングを行った機器の情報を記憶しています。音楽を再生したい機器を再接続する場合は、近くのペアリングされている Bluetooth 機器をすべてオフにし、本機の電源を入れ直してください。

## 主な仕様

製品名	HK AURA Studio3
タイプ	Bluetooth スピーカー
外形寸法 (幅×高さ×奥行)	232 × 283.6 × 232 (mm)
重量	約 3.6Kg
Bluetooth	バージョン 4.2 (Class 2)
対応プロファイル	A2DP、AVRCP
スピーカー構成	40mm 径ドライバー× 6、 130mm 径サブウーファ× 1
最大出力	最大 130W
周波数特性	45Hz - 20kHz
付属品	電源ケーブル

### ▶ お手入れ

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた液を少し含ませた布でふき、その後乾いた布でふき取ってください

### ▶ 本機の廃棄について



Li-ion

本機は内蔵電池として充電式リチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する危険性があります。本機に内蔵されているリチウムイオン電池はリサイクルが可能です。本機がご不要となりましたら、一般ゴミなどと一緒に廃棄せず、弊社アフターサポートの窓口へご連絡ください。

**ご注意**

感電などの危険があるため、本機を絶対に分解しないでください。

### ▶ 製品に関するお問い合わせ

https://jp.harmankardon.com/support-product.html

メールでのお問い合わせは、上記 URL よりお問い合わせフォームをご利用ください。

Tel：0570-550-465（ナビダイヤル）

受付時間：土日・祝日・年末年始を除く、平日 9:30 ～ 17:30

 **Bluetooth**®

- Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。
- Harman International Industries, Incorporated は、これら商標を使用する許可を受けています。
- Harman Kardon は米国およびその他の国々における Harman International Industries, Incorporated の登録商標です。
- iPod、iPad、iPhone は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- 本取扱説明書では、® および TM 表記を省略しています。

 **HARMAN**

ハーマンインターナショナル株式会社

© 2020 Harman International Japan Co., Ltd. All rights reserved.